

■ 国土のグランドデザイン2050

本格的な人口減少社会の到来、巨大災害の切迫等に対する危機意識を共有しつつ、**2050年を見据え**、未来を切り開いていくための国土づくりの理念・考え方を示したもので、2014年7月に策定されました。

● 国土づくりの理念

人と国土の新たなかかわりや世界の中の日本という視点も踏まえ、「多様性(ダイバーシティ)」、「連携(コネクティビティ)」、「災害への粘り強くしなやかな対応(レジリエンス)」の3つを基本理念とし進めることとされています。

■ 国土形成計画

国土形成計画法に基づき、**概ね10年間の国土づくりの方向性**を定めるもので、「国土のグランドデザイン2050」等を踏まえて、2015年8月に国土形成計画(全国計画)の変更が閣議決定されました。

また、地方ブロックでは、「全国計画」を踏まえて策定された「広域地方計画」に基づき、各ブロックにおける社会資本整備重点計画等との連携を図りつつ、各地域独自の個性を活かした取組が進められています。

● 国土の基本構想と国土や地域の構造

地域の多様な個性に磨きをかけ、地域間のヒト、モノ、カネ、情報の活発な動き(対流)を生み出す「対流促進型国土」の形成を国土の基本構想としており、対流を生み出すための国土構造・地域構造として、医療、商業等の生活サービス機能をはじめとした各種機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各地域をネットワークで結ぶ「コンパクト+ネットワーク」が提示されています。

■ 社会資本整備重点計画

社会資本整備重点計画は、中長期的な視点から社会資本整備に取り組むための道しるべであり、**真に必要な社会資本の姿を明らかにする**ものです。現行の計画は、2015年度～2020年度を計画期間として策定され、2015年9月に閣議決定されました。

● 重点目標

4つの重点目標とその達成に向けて必要な13の政策パッケージが定められ、パッケージごとに、現状と課題、中長期的に目指す姿、計画期間に実施する重点施策とその達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)が示されています。

- 重点目標1 社会資本の戦略的な維持管理・更新を行う
- 重点目標2 災害特性や地域の脆弱性に応じて災害等のリスクを低減する
- 重点目標3 人口減少・高齢化等に対応した持続可能な地域社会を形成する
- 重点目標4 民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する

● 計画の位置づけ

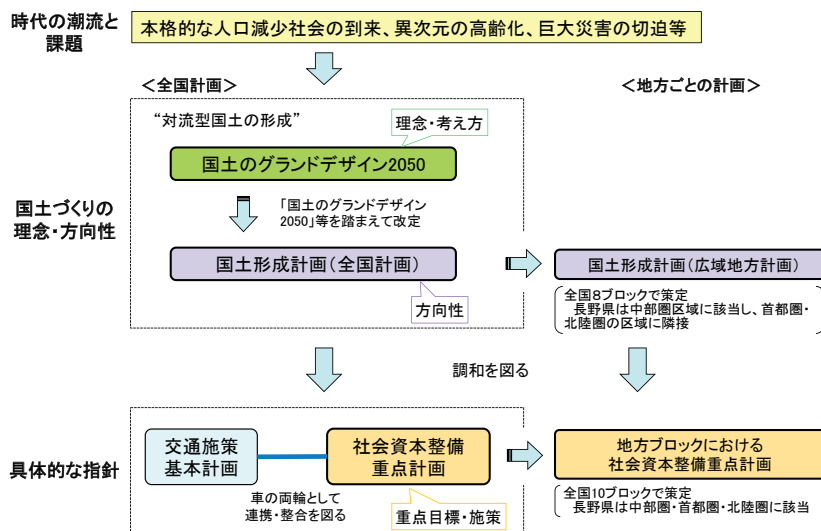
「国土のグランドデザイン2050」の具体化に向け、「国土形成計画」と調和を図るとともに、「交通政策基本計画」と“車の両輪”として連携・整合を図り、相互の取組の相乗効果が得られるよう一体的に実行していくことが求められています。

● 交通政策基本計画

交通政策基本法に基づき、日本における交通政策の長期的な方向性を踏まえつつ、交通に関する施策の基本的方針、目標、主要施策等が定められています。(計画期間:2014年度～2020年度)

● 地方ブロックにおける社会資本整備重点計画

社会資本整備重点計画で新たに設定された重点目標と政策パッケージを戦略的に推進するため、各地方の特性に応じて重点的、効率的、効果的に整備するための計画であり、全国10ブロックで策定されています。



社会資本整備にかかる国の計画の相互関係 (各計画の記載内容から長野県で作成)